

PTA部会だより

R2.3
release

～角鹿中学校区小中一貫校設置準備委員会PTA部会の様子をお届けします～

PTA部会を設置

角鹿中学校区のPTAに所属する保護者・教職員、近隣保育園の保護者、関係団体の代表者の皆さんで、PTA組織の統合や通学方法等について検討しました。平成30年10月から協議をはじめ、令和元年10月の第4回最終回まで、新しいPTA組織づくりと通学方法について、熱心な議論を行いました。



部会の様子

4つのPTA組織の統合に向けて

令和3年4月に角鹿小中学校が開校することにもない、現在の敦賀北小、赤崎小、咸新小、角鹿中にある4つのPTA組織を統合し、新たな組織をつくる必要があります。部会では、そのためにクリアしなければならない課題の整理、各組織の現状も踏まえ、今後の方向性を話し合いました。

主な課題	今後の方向性
①組織の再編、役員を選出、会則作成	会長1名。副会長3名は敦賀北・赤崎・咸新から各1名を選出。
②PTA会費、事業計画・予算の作成	1世帯1,000円を基本とし、今後収支に応じて金額を調整。
③PTA事務	事務員を1名配置。

『角鹿小中学校PTA設立準備委員会』を設置(R2.4～R3.3)

新PTA組織の設立は、開校と同じく令和3年4月のため、初年度の役員候補者と会計予算案など、新たにPTA活動をはじめめるうえで必要となる事項をあらかじめ検討するため『角鹿小中学校PTA設立準備委員会』を設置します。



スクールバス運行を要望

統合により通学距離の延長や通学路の変更などが発生します。子どもたちが安全に学校に登下校できるように、咸新小学校区で、独自にワーキンググループを立ちあげ、市教育委員会に要望しました。



教育長に要望書を提出

〈発行元・問合せ先〉

角鹿中学校区小中一貫校設置準備委員会事務局
敦賀市教育委員会事務局 教育総務課

敦賀市中央町2丁目1番1号 TEL: 0770-22-8150

《角鹿小中学校PTA設立準備委員会の設置について》

1. 設置の背景と目的

角鹿小中学校PTAの設立は、角鹿小中学校の開校と同時期の令和3年4月1日以降となるが、初年度の役員候補者並びに会計予算案等は、前年度のPTA組織が存在しないため、新たなPTA会則に従って決定することはできない。

したがって、初年度の角鹿小中学校PTAの活動を開始する上で必要な事柄を検討し決定することを目的として、角鹿小中学校PTA設立準備委員会を設置する。

2. 構成員

角鹿小中学校に統合となる4校(赤崎小学校、咸新小学校、敦賀北小学校、角鹿中学校)PTAの3役により構成する。

なお、オブザーバーとして、各校の校長・教頭に参加を依頼することができる。

3. 事務局

角鹿中学校PTA地域連携委員会を事務局とする。

4. 設置期間

令和2年4月1日から令和3年3月31日迄

5. 決定すべき事項

- (1) 初年度役員候補者(会長、副会長)
- (2) 初年度各常任委員会委員長候補者
- (3) 初年度事業計画(案)
- (4) 初年度予算(案)
- (5) その他初年度のPTA活動を開始する上で、予め決定が必要な事柄

6. 決定方法

構成員の全会一致とし、決定後、統合前の4校PTAの最終の総会で報告する。

令和元年11月6日

敦賀市教育委員会

教育長 上野 弘 殿

東郷地区区長会

会長 宮下 健一



咸新小学校PTA

会長 上田 雅之



角鹿小中学校開校に伴う通学方法に関する要望書

貴殿におかれましては、日頃より敦賀市の教育行政の発展に向けて、御尽力
いただいておりますこと心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、角鹿中学校、敦賀北小学校、赤崎小学校及び咸新小学校を統合する、
角鹿小中学校の設置について、当地区及びPTAにおいても、令和3年4月開
校に向け、準備を進めているところです。

このような中、開校後の通学方法については、現行から通学距離、通学路等が
大きく変化することに伴い、子どもたちが安全に新しい学校へ通えるよう、本
年5月、当地区によるワーキンググループを設立し、計5回にわたる検討を行
いました。

つきましては、検討結果に基づき、下記のとおり要望いたしますので、善処
賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 余座踏切周辺や天筒山トンネルなど、通学路における危険性を鑑み、国が
定める適切な通学距離のみにとらわれることなく、道路状況や交通状況、不
審者対応等を総合的に勘案し、全ての区を対象として、スクールバスを運行
すること。
- 2 各学年の下校時間に合わせたスクールバスを運行すること。
- 3 安全性が確保できる運行ルートや乗降場所を選定すること。

咸新小学校校下 スクールバス運行（案）

◆線路北側

運行ルート1（大型バス）



◆線路南側

運行ルート2（マイクロバス）

運行ルート3（マイクロバス）

